



時習 2024 No.13

嬉野市立嬉野小学校
学校だより
文責 中野 宗利
令和6年12月24日

◎ 2学期前半が終わりました!!

2学期前半を振り返ってみると、運動会での子供たちの取組が光りました。特に、5・6年生の「フラッグ」は6年生を中心に提案から振り付けの創作、仲間への指導まで自分たちで行い成功させることができました。また、企画委員会が自分たちがしたい競技（綱引き）を提案し実現することができました。このような主体的な取組は、子供たちの成長につながっていくと考えています。今後もできるだけ子供たちのやる気を引き出し、活躍する場を作っていきたいと思います。また、子供たちを導き、成長を支援している本校の職員は活気があって、行動力があります。私は、2学期後半も職員が実力を発揮できる働きやすい環境を整え、子どもたちの成長につながる後押しをしていきたいと思っています。

◎ヤング川柳 うまいな～!!

子供たちの日常を映したやわらかな発想の作品がすばらしいなと感動しています。これからもどんどんチャレンジして感性豊かな子どもたちに育ってほしいなと思います。

- | | | | |
|--------|----|--------------------|----------------|
| 10月15日 | 次点 | 目標のタイムが切れず再出発 | 中尾颯華（6年） |
| 10月27日 | 一席 | 新しく進化していく文ぼう具 | 宮原あみ（6年） |
| 11月17日 | 一席 | 月をおうスイミングバスの帰り道 | 林田こう（3年） |
| 11月24日 | 佳作 | ぼんやりはとともぜいたく母がいう | 山口和志（5年） |
| 12月 1日 | 次点 | でんせつのけんがぬけたよおうさまだ | 藤村莉心（2年） |
| | 次点 | さむいあさふとんと自分のしょうぶだぞ | 古川茉侑（3年） |
| 12月 8日 | 佳作 | ちかみちはひみつのとびらぬけてから | みやざきともき（3年） |
| | 次点 | かがみみてじぶんのこころみえちゃった | 古河ひなた（4年） |
| 12月15日 | 一席 | ひだりてをだしてまつぼくふるえてた | 野村渚斗（3年） |
| | 次点 | お母さんサイズあったよエックスL | ザリッチジョセフ幸助（3年） |

12月12・13日に川柳教室を開催しました。講師は、西日本新聞ヤング川柳の選者である真島久美子先生にお願いし、1年生から6年生まで学年に応じた楽しい授業をしていただきました。子供たちみんな創作意欲がわいて、集中して取り組んでいました。

◎ P T A親子行事 ありがとうございます！

P T A学年部の行事として各学年で工夫した取組をしていただいています。今回は、この時期ならではの「しめ縄づくり」に取り組まれた5年生の様子を紹介します。なお、地域コミュニティから10名を超す指導者に来ていただきました。

作業はかなり難しかったということで、親子で協力しながら、また、指導員さんのサポートを受けながら完成させることができましたそうです。



日本文化を学ぶ機会は、子供たちにとって貴重な体験ですが、その学びは多くの地域の方のご協力もあってこそのものであります。ありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。

◎佐賀新聞「わかもの」の欄に掲載されました！

佐賀新聞に新たに掲載された5年生3名の意見文を紹介します。意見文に自分の思いを書いていく中で表現の仕方を学び、文章力が向上していているのではないかと考えています。

家族で筋肉痛

嬉野小5年 豊川 羽奏

わかもの

5年生になり、運動会の種目に「フラッグ」と「ソーラン節」

の表現運動が始まりました。五つ上のお姉ちゃんも6年生の時におどった、嬉野小学校の伝統種目です。

「フラッグ」は、大きな旗を使っておどります。家で練習するとき、旗の代わりにタオルを使つて、音楽に合わせてふりました。「ソーラン節」では、深くしゃがんですぐに立ち上がるのが大変でしたが、くり返し練習しました。

二つのおどりを早く正確におどれるように、お母さんに動画をとってもらいました。お姉ちゃんも「なつかしい」と言いながら、いっしょにおどってくれました。

学校での練習は6年生が、リズムの取り方など細かいところまで教えてくれました。家では、母と姉が、「こうしたらいいよ」と動きながらアドバイスをしてくれました。次の日、姉と私、そして母まで、筋肉痛で足が思うように動かず、変な動きでした。

今年の運動会の思い出は、家族みんなが筋肉痛になったことです。来年は筋肉痛にならないようにふだんから運動するようにしたいです。

【2024年12月6日付の佐賀新聞】

応援リーダー

嬉野小5年 林田 大進

わかもの

去年の運動会で、応援団の人たちは声の出し方や動き方がすごかったです。だから、今年

の運動会では応援リーダーになりました。

まわがっても堂々と歌ったり、おどったりすることを心がけて練習しました。昼休みもずっと練習でした。その時は、赤組が勝つことだけを考えながら練習にはげました。

初めての応援リーダーだったので、ふりつかけを覚えるのが難しくて苦労しました。しかし、その分「勝ちたい」という思いがだんだん強くなってきました。

運動会当日、「応援合戦」はプログラムの真ん中でした。たいこの合図に合わせて入場すると、「今までこんなにながれば良かったか、自信をもつてやろう」という気持ちになりました。大きな声で歌え、ふりつけも完璧におどることができたので、達成感でいっぱいになりました。

苦労しましたが、その分達成感や喜びを味わうことができたのかなと思います。応援リーダーをやって本当に良かったです。

【2024年12月19日付の佐賀新聞】

責任を果たした色別リレー

嬉野小5年 久保田 華奈

わかもの

今年の運動会で一番がんばったことは色別対抗リレーです。

初めは、リレーのメンバーに選ばれずに補欠でした。とてもくやしいう思いをしました。しかし、朝の練習には参加しました。バトンパスなどの練習をしましたが、でも本番ではどうせ出られないだろうなあ」と、軽く考えながらやっていたんです。

運動会の2日前に担任の先生から電話がありました。リレーのメンバーが急に欠席することになり、リレーに出てほしいということです。聞いたときはうれしくて、少しこうふんしました。しかし、急にその責任の重さにきんちゃんしてきました。

当日、プログラムが進み、いよいよ色別対抗リレーになりました。走る前はドキドキして、足がふるえそうでした。バトンパスもうまくいって、走っているときは追いつかれないように必死でした。次の走者にバトンを渡して、私の役目は終わりました。

リレーに出場して、一人一人が思いを一つにバトンをつなぐことや、準備することの大切さを学びました。

【2024年12月23日付の佐賀新聞】

◎入賞おめでとうございます！

- ★佐賀県学童美術展覧会 特選 4年宮崎悠聖 2年刈野渚
- ★佐賀県愛鳥週間ポスターコンクール 佐賀県知事賞 2年刈野南
佐賀県農林水産部長賞 4年刈野螢
- ★第50回JA共済小・中学生交通安全ポスター 銅賞 1年山口葵
- ★第12回九州新聞社ピアノコンクール佐賀・長崎地区二次予選 準グランプリ 3年北川喜子
- ★全日本剣道連盟主催全国道場少年剣道選手権大会第41回小学生女子の部優勝 6年江口真央
- ★道越少年野球スーパージュニア交流大会 優勝 嬉野少年野球クラブ
MVP 4年山口英樹
優秀選手賞 4年富永悠稀 松尾雅仁
- ★第19回佐賀県冬季水泳競技大会 11～12歳女子4×50mフリーリレー第3位 6年中尾颯華
- ★第24回全国小学生大会佐賀県予選会女子5年生ダブルス 第2位 吉牟田彩夏 伊東一花
女子4年生以下ダブルス 第3位 3年吉牟田真帆 山下菜陽
- ★第26回南九州市かわなべ青の俳句大会 特選 5年山里琉生「大都会ビルのかべからセミの声」

☆就学援助制度をご存知ですか？

嬉野市では、経済的な理由で就学が困難とならないように就学に必要な経費の一部を援助しています。令和7年度分の申請をしたい場合は、1月下旬頃までに校長へご相談ください。